

福岡市総合図書館

映像ホール

FUKUOKA CITY
PUBLIC LIBRARY
MOVIE HALL

シネラ NEWS

8

AUGUST

1997 No.13



血煙荒神山

■特別企画■

福岡での映画100年の歴史を
振り返る
博多、映画100年祭

アジアフォーカス・福岡
映画祭'97 プレイメント

■特集■

戦前、戦後の代表的動画を上映
日本動画作家特集

炭坑が息づいていた時代を描く
石炭のある風景

アジアと欧米との交流を描く
国境を越えるアジア映画



心配しないで

特別企画 | 福岡での映画100年の歴史を振り返る

博多、映画100年祭

福岡で初めて映画が上映されてから今年で100年。

福岡での映画100年の歴史を振り返り、映画の現在と未来を探る。

主催：博多・映画100年祭実行委員会、福岡市総合図書館

協賛：テレビ西日本

協力：アジアフォーカス・福岡映画祭実行委員会

監修：梁木靖弘

会期：7月23日(水)～8月10日(日)

※7月28日(月)7月31日(木)8月4日(月)は休館日。

※7月29日(火)8月5日(火)は映画の上映はありません。

観覧料：7月23日(水)～8月6日(水)

500円(当日券) 2,000円(5回券)

8月7日(木)～8月9日(土)

1,000円(当日券のみ。)

8月10日(日)

1,500円(当日券のみ。往復ハガキによる申し込みが必要です。)

※定員制、各回入替制(但し8月7日・8日は入替なし)

※5回券はチケットぴあ、ローソンチケットでも販売。

※7月23日～7月30日のスケジュールはシネラNEWS 7月号又は「博多、映画100年祭」チラシをご覧ください。

福岡を舞台にした映画

8月1日(金)14:00

海と毒薬

1986年/35ミリ モノクロ/123分

監督：熊井啓 出演：奥田瑛二

第二次大戦末期にあった米軍捕虜の生体解剖事件。これを元にした遠藤周作の小説「海と毒薬」の映画化作品。熊井啓監督は驚くべきリアリズムの手法により、日本人の罪の意識を告発していく。



8月1日(金)16:30

博多どんたく

1948年/16ミリ モノクロ/78分 [大映]

監督：丸根賛太郎 出演：阪東妻三郎

博多の奇人・博多八丁兵衛を主人公にした笑いあり、涙ありの人情ドラマ。年に一度、武士と町民の身分をなくし無礼講が許されるという「博多どんたく」の日に、博多町民が武士に対する日頃のうっぷんを爆発させる。



8月1日(金)19:00

博多っ子純情

1978年/35ミリ カラー/94分 [エル・アイ・エル]

監督：曾根中生 出演：光石研

漫画家・長谷川法世が故郷・博多への思いを託して描いた漫画「博多っ子純情」の映画化。主人公・郷六平の青春がリアルな描写と漫画的なデフォルメがうまくミックスされた形で描かれる。また博多の街で撮影されており、当時の博多がふんだんに登場する。



8月2日(土)11:00

空の大怪獣ラドン

1956年/35ミリ カラー/82分 [東宝]

監督：本多猪四郎 出演：佐原健二

核実験により太古の翼手竜が怪獣・ラドンとして現代に蘇る。「ゴジラ」の姉妹編とも言える本作はカラー画面による特撮の効果を最大限生かした傑作である。特にラドンが破壊する福岡市の町並みの精巧さは特筆できる。



8月2日(土)13:30

しいのみ学園

1955年/16ミリ モノクロ/100分 [新東宝]

監督：清水 宏 出演：香川京子

福岡市の実話を元にした映画。小児麻痺の子供を二人抱える大学教師の主人公は、家財をなげうって、子供達の為に学校を設立する。明るく素朴な演技を見せる子供達の表情が素晴らしい感動作である。



8月2日(土)16:00

にっぽん三銃士 博多帯しめ一本どっこの巻

1973年/35ミリ カラー/96分 [東京映画]

監督：岡本喜八 出演：小林桂樹

仕事も家庭も捨て、体制からドロップアウトして博多へ流れてきた三人のアウトロー達を喜劇タッチで描いた映画。本作に溢れている希望と絶望が奇妙に入り混じったアナキーな雰囲気は、まぎれもなく70年代前半の時代精神である。



特集・大河内傳次郎

8月3日(日)

福岡県豊前市出身の大河内傳次郎は無声映画時代の日本映画の黄金時代を担った代表的な俳優であった。特に伊藤大輔監督とのコンビは有名であり「御読次郎吉格子」を初め多くの傑作を残している。

またハマリ役となった「丹下左膳」、堂々たる演技を見せる「栗山大膳」と時代劇の大スターであった大河内傳次郎の特集上映。

11:00「栗山大膳」1936年/16ミリ モノクロ/97分 [日活] 監督：池田富保

13:30「丹下左膳 諸 百万両の壺」1935年/16ミリ モノクロ/92分 [日活]

監督：山中貞雄

16:00「御読次郎吉格子」1931年/16ミリ

モノクロ(サイレント)/60分 [日活]

監督：伊藤大輔



栗山大膳

日本映画100年の夢

8月6日(水)14:00/19:00

映画100年にちなんだ映画を2本上映。「夢のシネマ 東京の夢」は映画100年記念として製作されたドキュメンタリーで、リュミエール社のカメラマン、ガブリエル・ヴェルネが世界を巡った足跡を追ったもの。「映画のふるさと」は日本映画の発祥の地である京都の映画史をドキュメンタリー的に描いた作品。

「映画のふるさと」

1976年/16ミリ カラー/47分

監督：鈴木一夫 企画：日本新薬株式会社

「夢のシネマ 東京の夢」

1995年/ハイビジョン カラー/50分

監督：吉田喜重

製作：東京メトロポリタンテレビジョン、現代映画社、セビア・プロダクション



夢のシネマ 東京の夢

これが映画だ！マキノ雅弘「次郎長三国志」一挙上映

8月7日(木)・8日(金)

なんといっても映画の魅力は活劇。時代劇の巨匠マキノ雅弘の「次郎長もの」の最高傑作「次郎長三国志」(主演：小堀明男)を第1作から第5作まで一挙上映。(7日・8日は入れ替えなし)

11:00「次郎長三国志 次郎長売り出す」

1952年/35ミリ モノクロ/82分

監督：マキノ雅弘 [東宝]

13:30「次郎長三国志 次郎長初旅」

1953年/35ミリ モノクロ/83分

監督：マキノ雅弘 [東宝]

15:10「次郎長三国志 次郎長と石松」

1953年/35ミリ モノクロ/87分

監督：マキノ雅弘 [東宝]

17:00「次郎長三国志 勢揃い清水港」

1953年/35ミリ モノクロ/80分

監督：マキノ雅弘 [東宝]

18:40「次郎長三国志 殴込み甲州路」

1953年/35ミリ モノクロ/78分

監督：マキノ雅弘 [東宝]



次郎長三国志・次郎長初旅 写真提供：東宝

映画100年の原点

8月9日(土)14:00

映画の歴史は1895年パリのグランカフェで始まる。当時リュミエール兄弟によって上映された作品、1897年2月に大阪で初めて上映された作品、そしてリュミエール社のカメラマンが撮影した当時の日本の風景などを記録した作品を上映。映画の原点といえるリュミエール作品群を電子ピアノによる伴奏付きで上映。

「リュミエール・プログラム」

…35ミリ/モノクロ・サイレント 90分

伴奏：岡本えり

東京芸大付属音楽高校及び同大学卒業。安永武一郎、松野景一、本荘玲子に師事。ピアニストとして九州交響楽団との協演を行う他、室内楽、合奏の伴奏、近代、現代を得意とするピアニストとして注目されている。

特別企画

アジアフォーカス 福岡映画祭'97プレイベント

アジアフォーカス・福岡映画祭'97のプレイベントとして今年の上映作品の中から大人も子供も楽しめる作品を無料で先行上映します。

主催：アジアフォーカス・福岡映画祭実行委員会

共催：福岡市総合図書館

会期：8月24日(日)

観覧料：無料

但し大人も子供も整理券が必要です。整理券は8月1日より福岡市総合図書館、福岡市情報プラザで配布。

(時間指定/1人3枚まで)

お問い合わせ：アジアフォーカス・福岡映画祭事務局

TEL：092-733-5170

博多の芸能と映画

8月10日(日)13:30～16:30

芸能と映画の関係を考える。福岡独自の芸能である博多独楽と筑前琵琶、そして映画弁士の原型ともいえる浪曲、最後に弁士・楽団付き映画上映とバラエティに富んだ構成で「博多、映画100年祭」を締めくくる。

博多独楽 出演：博多独楽宗家三代目

筑紫寿楽

筑紫翔楽

筑前琵琶 出演：中村旭園ほか社中

浪曲 出演：平家物語挿入祝賀の曲

浪曲 出演：太田ももこ

浪曲 出演：赤穂義士外伝

元禄瓦版

[弁士・楽団付き映画上映]

弁士：井上陽一 演奏：大野政夫と和洋合奏団

「血煙荒神山」1929年/16ミリ モノクロ

サイレント/20分 [日活]

監督：辻 吉朗 主演：大河内傳次郎

「睦の母」1931年/16ミリ モノクロ

サイレント/60分 [千恵蔵プロ]

監督：稲垣 浩 主演：片岡千恵蔵

8月10日の催しは往復ハガキによる申し込みが必要です。往復ハガキに住所、氏名、電話番号を明記の上、「8月10日、博多の芸能と映画観覧希望」として7月25日(必着)までに下記住所までお送り下さい。(往復ハガキ1枚につき1人の申し込みです。)応募多数の場合は抽選いたします。

〒814 福岡市早良区百道浜3-7-1

福岡市総合図書館映像資料課



血煙荒神山



リュミエール・プログラム

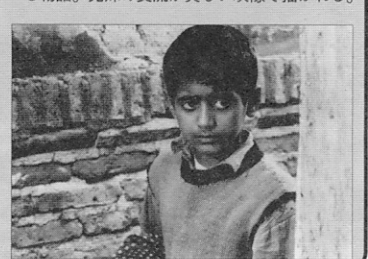
8月24日(日)11:00/15:00

「天使のような子どもたち」

1996年/カラー 35ミリ/90分

[イラン] 監督：マジド・マジディ

昨年「父」で映画祭に参加したマジド・マジディ監督の最新作。お使いの途中で不注意で妹の靴を紛失してしまった兄が、妹のために賞品の靴をもらおうとマラソン大会に出場する物語。兄妹の交流が美しい映像で描かれる。



福岡市総合図書館ミニシアター特別企画

第12回ヒロシマ国際アマチュア映像祭 (1997) 優秀作品上映会

ミニシアターでは、今年のヒロシマ国際アマチュア映像祭に日本をはじめアメリカ等世界29カ国・地域から応募された297点の作品の中で、入選をした作品の中から、特に優秀な13作品を上映いたします。

この映画祭は、被爆30周年を記念した1975年より「平和と生きる尊さ」をテーマにして毎年行われているものです。

期 間：8月5日(火)～10日(日)

上映時間：午後

(時間はお問い合わせください。)

上映場所：福岡市総合図書館ミニシアター

観覧料：無料

主催：福岡市総合図書館

共催：福岡映像協会

特別協力：ヒロシマ国際アマチュア映像祭

実行委員会

▼ 映像ホール・シネラスケジュール

月	日	曜日	内 容
8	1	金	14:00 海と毒薬 16:30 博多どんたく 19:00 博多っ子純情
	2	土	博多 11:00 空の大怪獣ラドン 13:30 しいのみ学園 16:00 にっぽん三銃士 博多帯しめ一本どこの巻
	3	日	11:00 栗山大膳 13:30 丹下左膳餘話 百万両の壺 16:00 御誂次郎吉格子
	4	月	休 館 日
	5	火	上映はありません
	6	水	14:00 「映画のふるさと」 「夢のシネマ 東京の夢」 19:00 「映画のふるさと」 「夢のシネマ 東京の夢」
	7	木	これが映画だ！ マキノ雅弘「次郎長三国志」一挙上映
	8	金	11:00 「次郎長売出す」 13:30 「次郎長初旅」 15:10 「次郎長と石松」
	9	土	17:00 「勢揃い清水港」 18:40 「殴込み甲州路」
	10	日	14:00 映画100年の原点 「リュミエール・プログラム」
	11	月	13:30~16:30 博多の芸能と映画 「血煙荒神山」、「陰の母」(事前のハガキ申込が必要)
	12	火	休 館 日
	13	水	上映はありません
	14	木	11:00 文福茶釜 他 15:00 元禄恋模様・三吉とおさよ 他
	15	金	11:00 ちんころ平平玉手箱 他 15:00 かぐや姫 他
	16	土	11:00 チコタン・ほくのおよめさん 他 15:00 元禄恋模様・三吉とおさよ 他
	17	日	11:00 文福茶釜 他 14:00 ちんころ平平玉手箱 他 17:00 チコタン・ほくのおよめさん 他
	18	月	11:00 かぐや姫 他 15:00 元禄恋模様・三吉とおさよ 他
	19	火	休 館 日
	20	水	上映はありません
	21	木	14:00 筑豊の子供たち 19:00 筑豊の子供たち
	22	金	14:00 花と龍 19:00 花と龍
	23	土	14:00 にあんちゃん 19:00 にあんちゃん
	24	日	11:00 青春の門 15:00 青春の門
	25	月	アジアフォーカス・福岡映画祭 '97 プレイベント 11:00 / 15:00 「天使のような子どもたち」
	26	火	休 館 日
	27	水	上映はありません
	28	木	14:00 七つの海を越えて 19:00 心配しないで
	29	金	14:00 ディープ・ブルー・ナイト 19:00 七つの海を越えて
	30	土	14:00 心配しないで 19:00 ディープ・ブルー・ナイト
	31	日	「怪 談」上映会
			月 末 休 館 日

※満席の場合、入場をご遠慮いただく場合がございますので御了承ください。

各団体の自主上映事業

8月30日(日)「怪談」上映会(予定)

主催：福岡映画サークル協議会 TEL：092-781-2817
上映時間・内容等詳細につきましては直接主催者にお問い合わせ下さい。

「博多、映画100年祭」特別企画展

会 期：7月26日(土)～8月30日(土)
会 場：福岡市総合図書館ギャラリーほか
観覧料：無料(但し、シネラを除く)

福岡での映画100年の歴史を振り返り、福岡の映画関係の資料を中心に展示します。(大正から昭和にかけての映画チラシや映画館プログラムなど)

シネラNEWS送付のご案内

シネラで上映する作品の紹介やスケジュール、映像ホール等で開催される各種イベントなどの情報を満載した「シネラNEWS」を毎月お届けします。(但し、要郵送料負担)

申込希望月より'98年3月までの郵送料(90円切手×7月分＝630円)の切手を同封して、下記の宛先までお申し込み下さい。

宛先：〒814 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
福岡市総合図書館映像資料課まで

なお、毎月当ホールの上映スケジュールポスターを掲示していただける店舗等も募集いたしております。
詳しくは福岡市総合図書館映像資料課まで。

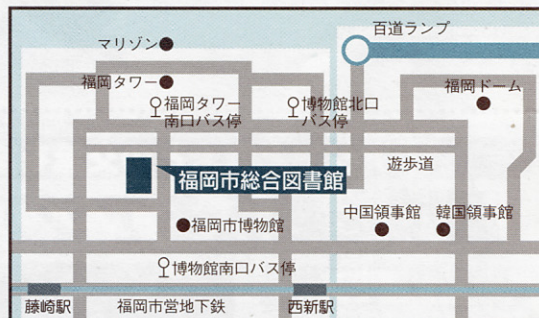
映像ホール利用申し込みについて

平成9年12月以降映像ホールで図書館の企画上映がない下記の期間は、映像ホールを有料で利用することができます。(但し映像文化の普及振興を目的とした非営利の映写会の利用に限る)

期間：11月26日(水)～11月29日(土)

12月24日(水)～12月27日(土)

(12月24日～27日の申込は8月1日11時より受け付けます。)
利用に関しては条件等がございますので、詳しくは福岡市総合図書館映像資料課TEL(092)852-0600までお問い合わせください。



交通機関：地下鉄西新駅および藤崎駅より徒歩15分
西鉄バス博物館南口および
福岡タワー南口バス停留所より1分
都市高速百道ランプより車で2分



Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

お問い合わせは

Tel : 092-852-0600 Fax : 092-852-0609